



# Spectrum® Spatial for Business Intelligence.

位置情報とビジネスインテリジェンスをシームレスに 統合し、  
新たな発見からビジネスを変革する

## 製品概要

今日、企業や政府機関が高いパフォーマンスを実現するためには、ビジネスパフォーマンスの管理システムを導入し、データの背後に潜む有用な情報を活用することが求められます。組織が保有するデータの意味するところを理解し、情報に基づいた決定を下すためには、ビジネスインテリジェンス(BI)システムが有効だと考えられています。

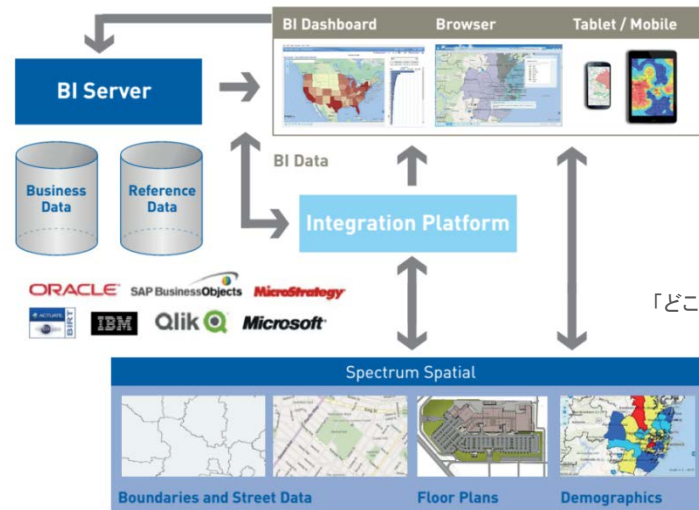
改めて地理情報の役割を考えてみましょう。

すべてのデータの約80%に地理的な要素が含まれるといわれています。顧客、競合他社、店舗、不動産などの資産、ネットワーク網、保有する施設、流通センターなどはすべて場所に紐づいているという事実を考慮すれば明らかでしょう。

地理的なパターンやトレンドを理解できれば、ビジネスのバックグラウンドに埋もれがちな情報を見つけたことができ、ビジネスに大きなチャンスをもたらすことは間違いありません。

Spectrum® Spatial for BI は広く利用されているBIシステムの機能を拡張し、BI環境に地理的情報のビジュアライズと分析機能を組み込みます。組織が保有するデータを地理的な視点から分析することを通じて、通常は見えていなかったビジネスの側面が発見できるはずです。

Spectrum Spatial for BI は新たな開発が必要ないパッケージソリューションとして提供されますので、導入時に高コストでハイリスクなシステム開発は不要です。したがって、すでに導入済みの技術投資からすぐにビジネスの利益が得られます。



「どこで？」を理解することで、ビジネスインテリジェンスが進化します

## 導入メリット

- BIのダッシュボード上にマップを取り込んで位置情報を活用することにより、機能を拡張できます
- 既存のSpectrum Spatialの高機能な位置情報機能をBIのダッシュボード内で活用できます
- 操作が容易なので、専門のトレーニング不要で位置情報ソリューションを導入できます
- BIとリンクすることによりSpectrum Spatialをより有効にビジネスに活用できます
- 柔軟性の高い空間分析を誰もがアクセス可能な環境で利用できます

## 位置情報のビジュアライズ

BIではビジネス情報を容易に理解するためにレポートや表、グラフを活用しますが、地理的なパターンや傾向、地域間の相対的な比較は把握が難しい場合がほとんどです。Spectrum Spatial for BIは、BIシステムと統合することにより、これらの情報を地図上で表現し、より高度な利活用を実現します。

## BIとマップ間の双方向情報操作

Spectrum Spatial for BIはレポートからマップへ、あるいは逆にマップからレポートへデータを受け渡す機能を有しています。BIシステムで抽出した情報があるような分布を示すのかマップ上で確認したり、マップ上の分布から特定の範囲を指定してBI側に戻した上で、改めて特性を分析するなどの活用が可能です。

## 地理的なフィルタリング

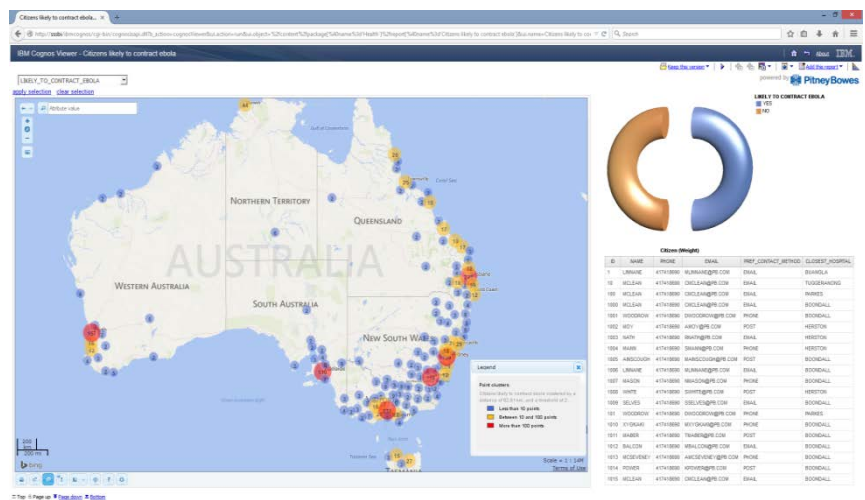
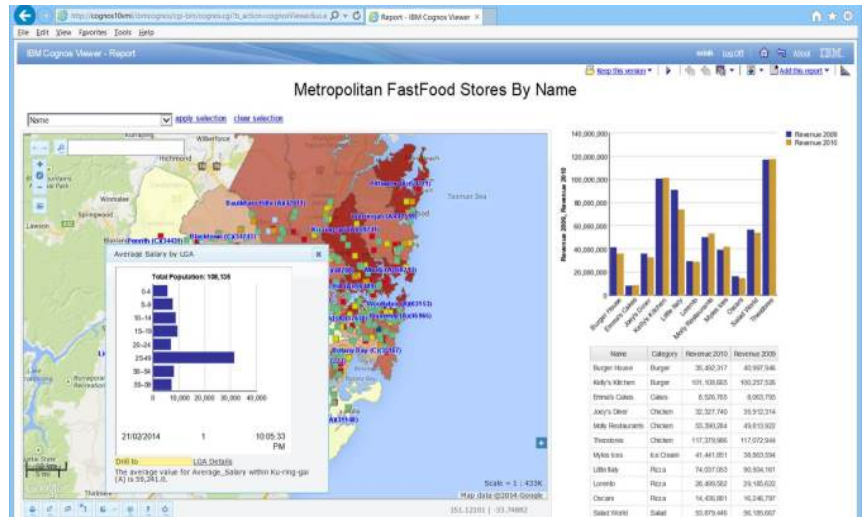
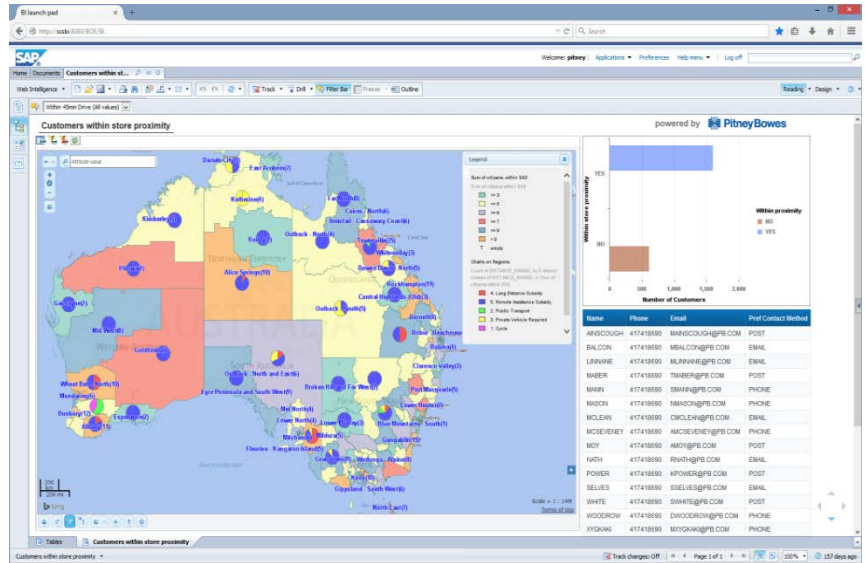
マップ上で領域を指定するなどの地理的なフィルタリングを行って複数のレポートを比較することにより、分析対象の属性に応じた地理的な影響を明確に示すことができます。

## BIデータのエンリッチメント

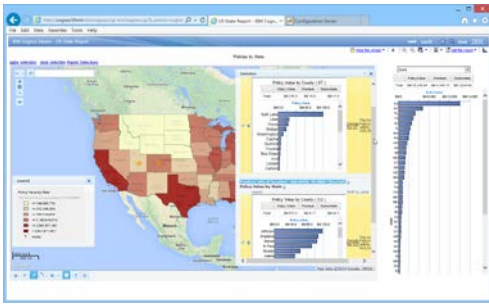
一般的にはBIシステム単体では利用しない人口統計やライフスタイルなどの地域特性情報、災害リスク情報などの地理的な外部データを統合的に活用することで、より説得力のある市場規模の把握やリスクの数値的評価などが即座に得られます。経営層による重要な経営上の意思決定にメリットがあります。

## その他のメリット

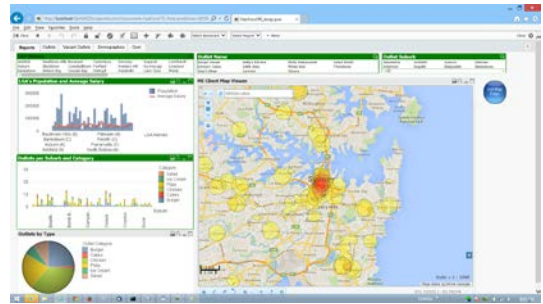
- 地理的なドリルアップやドリルダウンを行えます
- ユーザーインターフェイスのカスタマイズが可能です
- 統計データ、デモジオグラフィックデータ、行政区データ、リスクデータをはじめとしたピツニーボウズがワールドワイドにカバーする地図データが活用できます(オプション)
- 世界中のジオコーディングサービスが利用できます(オプション)
- 世界中のルート探索およびドライブタイム作成が可能です(オプション)
- 住所情報の正規化、フォーマットの統一、重複データの検出などを実現するデータ品質ソリューションの活用が可能です(オプション)



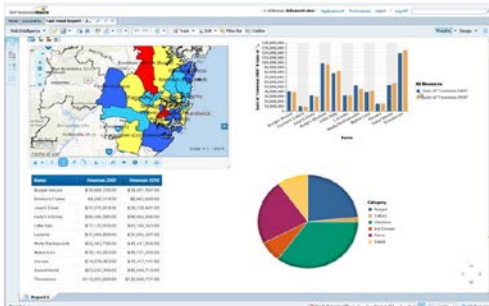
## 対応するBI製品



IBM® Cognos®



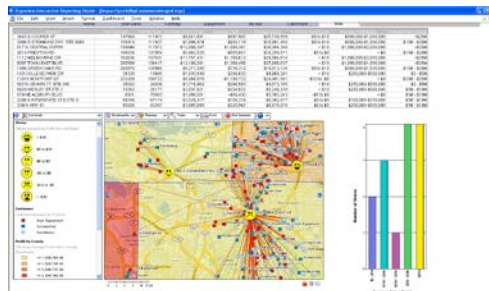
QlikTech Qlikview



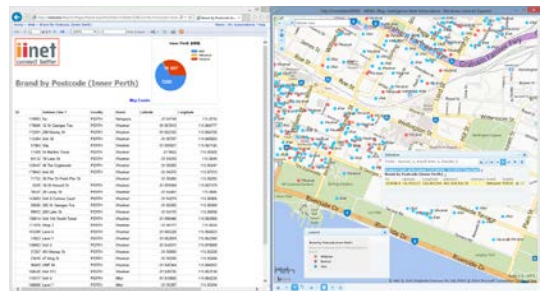
SAP Business Objects™



MicroStrategy®



Oracle® Hyperion®



Microsoft Reporting Services

## ケーススタディ



### 流通・小売

- 収益性の高い出店候補地を特定する
- 店舗周辺の優良顧客を特定して効率的な来店プログラムを実施する
- 商圏の特性に応じた品揃えを行い売上を最大化する



### 金融

- 店舗網を最適化して営業テリトリー内の経営リソースを最適化する
- 担保物件の管理業務を効率化する
- 商圏特性に応じた顧客への提案商品の最適化



### 保険

- 損害保険引受時のリスクを地理的条件から判定する
- 代理店とのネットワーク化による意思決定の高速化を行う
- 営業テリトリーの最適化



### 通信

- 人口カバー率などを考慮した通信ネットワークの構築を行う
- クレームに対する的確な対応を行う



### ヘルスケア

- 電子カルテに基づく患者分析を地理的に行い、病院経営の最適化を行う
- 製薬業界におけるMRの営業テリトリー最適化を行う
- 疫学上の地理的分析を行う



### 公共部門

- 公共サービス施設の最適配置を行う
- 市民向けサービスの拠点マップのサービスを行う
- 災害時の危機管理をシミュレートして減災を実現する

## その他の重要なポイント

### 位置情報とBI機能の完全な統合

Spectrum Spatial for BI はBIに位置情報の機能を統合することで、アナリストからの要請により、容易な意思決定を可能にしたいツールとして開発されました。

SAP Business Objects、IBM Cognos、Oracle (Hyperionおよび Oracle Business Intelligence Enterprise Edition)、Microstrategy、Microsoft Reporting Service+Excel、QlikTech Qlikview等のBI製品のプラットフォームから、ピツニーボウズのサーバマッピング技術の粋であるSpectrum Spatialにリンクして位置情報の高い機能を利用することができます。

### フレキシブルなライセンス体系

Spectrum Spatial for BI は、サーバのCPUに対するライセンスでユーザーの数を制限せずに使用することができる一方、実際の利用者の数だけライセンス購入を行うことも可能です。Spectrum Spatial for BI のサーバライセンスがあれば、複数の異なるBIシステムを導入している場合、これらを複数の「クライアント」として運用することも可能です。導入時にはサーバライセンスと一種類のBIシステムをクライアントとして運用するようなライセンスでスタートし、のちに別のBIシステムを追加導入するような場合でも、ライセンスをいつでも追加できます。あわせてテクニカルサポートと保守サービスも提供しています。

### 動作環境

Spectrum Spatial for BI は、Spectrum® の技術プラットフォームの一部となっています。Microsoft Windows、LinuxおよびUnix® のオペレーティングシステム上で利用できます。地理的データと非地理的BIデータを統合することによって、業界標準の地理的データのフォーマットを幅広く活用できます。



Spectrum Spatial for BI は、普及している多くのBIシステムに対応しています。

- SAP Business Objects™ XI 2.5~4
- IBM® Cognos®: 8.4 ~10.2.1
- Oracle® Hyperion®: 11
- Oracle Business Intelligence Enterprise Edition 11
- Microstrategy® ~9.4.1
- Microsoft® Excel®: 2003 ~2013 (32および64ビットバージョン)
- QlikTech Qlikview: 10~11.2 SR5 など

### 動作環境

#### ■ オペレーティングシステム:

- Windows® Server: 2008 R2, 2012
- Ubuntu®: 12.04
- Solaris®: 10, 11

#### ■ 空間データベース:

- Oracle®: 10, 11
- SQL Server Spatial 2008
- PostGres 8+ (PostGIS 2.x)
- SQLite

#### ■ ブラウザ:

- Internet Explorer®: 8, 9
- Mozilla Firefox®: 10以降
- Google Chrome™: 17以降
- Safari (Mac OS X)

#### ■ Open Geospatial Consortium (OGC)の規格に対応します:

- Web Map Service (WMS): 1.0,1.1,1.3
- Web Feature Service (WFS): 1.0

詳細は、ピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社または、製品販売パートナーまでお問い合わせください

### ピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社

〒150-0012  
東京都渋谷区広尾1-1-39  
プライムスクエアタワー13階  
TEL: 03-6805-1155/ FAX: 03-6805-1123  
E-mail: [PBBI-Japan@pb.com](mailto:PBBI-Japan@pb.com)  
Web: <http://www.mapinfo.co.jp>



Pitney Bowes, the Corporate Logo and Spectrum are trademarks of Pitney Bowes Inc. or a subsidiary. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2014-2015 Pitney Bowes Inc. All rights reserved.

この内容は予告なしに変更する場合があります。ここに記載されている製品およびサービス名は、各社の商標です。

15DCS00042\_JPN